

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターひゅーるぼん ひよこ組		
○保護者評価実施期間	2024年11月7日		～ 2024年11月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年11月7日		～ 2024年11月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月9日		

## 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感の評価が高く、こどもたちはもちろん、保護者の方にとっても安心して通える場所となっている。	こどもたちに関わる上では、まずはスタッフとの丁寧な関わりを通して安心感を構築することを何よりも大切にしています。保護者の方とも、日々の様子を共有しながら連携してこどもたちの成長を応援すること、家庭での心配事などの相談に随時応じながら一緒に取り組みを考えることに努めています。日々の活動の様子は、行事等での参観や写真公開などで見ていただける機会を作っています。	個々のスタッフの力量を高めること、スタッフ間の連携を強化することで、専門的な視点でこどもたちの成長を促すアプローチを行い、こどもたち、ご家族の方にもより安心して通所いただけるよう引き続き努めます。また、いつでも気軽に相談できる雰囲気を作るためにも、ゆとりのあるスタッフ体制、環境を整えられるよう工夫していきます。
2	保育士や児童指導員だけでなく、社会福祉士、管理栄養士、保健師などの幅広い専門職スタッフ、また幼児期から成人期までの成長の視点を持ったスタッフなど、多様な視点でこどもたちの育ちを応援することができる。	多職種スタッフ間での日常的な情報共有、支援方法の検討などを通して、こどもたちの成長を促すアプローチにつなげています。また、ひよこ組単独のスタッフ研修だけでなく、法人全体での研修やケース検討などを行い、スタッフ間の連携やスキルアップにも努めています。	引き続き、個々のスタッフの専門性を高めること、スタッフ間の連携や情報共有に努めていきます。また、発達支援センターとして、私たちの持つ専門性を、通所児だけでなくご家族や地域に対しても積極的に発揮できるようにしたいと思います。
3	法人全体での保護者の方同士の交流の機会、行事などが多くあり、先輩保護者の話、通所児者の活動の姿などを通して、こどもたちの将来に向けた成長の視点を持つことができる。	保護者交流会をはじめ、先輩保護者の話を聞く会、法人全体での行事などを大切にし、幅広い年代の保護者の方が交流する機会となるようにしています。行事の運営も保護者の方にお手伝いいただきながらスタッフと一緒にしています。	「先輩保護者の話を聞く会」のような企画はもちろん、保護者参加の企画、活動参観の機会を通して、保護者の方同士が顔を合わせる場を多く作ることで、同じ世代の保護者の方同士がじっくり話したり学び合ったりするような機会に繋げ、日常的な交流につながるきっかけを多く作りたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもたち一人一人に応じたよりきめ細やかな支援を行うためには、さらなるスタッフ数が必要だと感じる場面がある。また、地域の園との交流、兄弟支援、家族支援など、こどもたちへの直接支援以外のプログラムに十分には取り組めていない。	基準を上回る人員配置をしているものの、日々の余裕のなさは否めません。業務量も増大し、こどもたちと丁寧に向き合い成長を応援していく時間、そのための準備に充てる時間が不足しがちなのが現状です。スタッフの努力だけでこれらを解決することに限界を感じています。ゆとりの無さは、発達支援センターとして地域に力を発揮できにくい要因にもなっています。スタッフだけでは難しい内容に関しては外部の方の協力を得ながら行うことも検討したい反面、外部の方が関わることへの不安を感じられる保護者の方への配慮も必要だと感じます。秘匿性と社会への還元や公平性などのバランスに難しさを感じることもあり、丁寧な企画と工夫が必要だと感じています。	家族支援としてこれまで延長預かりを実施してきました。現在は試行的に受け入れ枠の拡大に取り組んでいます。ニーズが高まっている就労支援について、事業方針の見直しの時期にあると思います。兄弟児支援も含めて、その効果が期待できる部分については、課題に挙げていることを考慮しながらも、NPOの特性であるボランティア等外部の方と協働して事業を進めるなど、こどもたちに関わる上でのゆとりの創出につなげたいと思います。
2	法人全体の行事予定などが決まるのが遅く、特に就労されている保護者の方にとっては予定調整が難しいことがあり、交流の場に参加しにくいことがある。	ひよこ組単独で行う行事の予定はできる限り早めにお知らせするよう努めています。ただ、法人全体で調整、決定が必要な行事や内容については、会議日程やその他の事業の調整等で決定が遅くなることもあり、保護者の方にお知らせできるタイミングが直前になることが多くなっています。	法人行事も含め、年間予定を決めて早めにお知らせすることに努めます。